

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川 昌一 (尾崎 幸忠)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	億円
		通常砂防事業 佃川	朝来郡山東町迫間		約 2.5
所在地				着工予定年度	完成予定年度
朝来郡 山東町 迫間				H12年度	H15年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進み土砂災害の危険性が高まっているため、対策ダムを設置して地域住民の人命・財産及び県立南但馬自然学校施設を保全する。	・ダム工 1基 (H=8.0m, L=84m)

評価視点	評価内容
(1)必要性 安全・安心 地域の活性化 快適性・ゆとり その他	・佃川は土石流危険渓流である。 ・流域の荒廃は著しいが、砂防設備は未設置である。 ・保全対象 : 人家 = 11戸 公共施設 = 県道溝黒竹田線, 町道, 自然学校キャンプサイト ・平成10年台風10号の豪雨により崩壊が進んでいる。 ・砂防ダム工事により土砂災害が軽減され、自然学校敷地のキャンプサイトの有効な利用がさらに図れるようになる。 ・ダムの設置により自然学校の良好な自然環境を保全する。 ・地元からの事業化への要望が強い。 ・過疎対策法対象町、山村振興指定地域及び豪雪地帯対策特別指定地域に該当するため、砂防ダム整備により地域間格差の是正に寄与する。
(2)有効性・効率性 有効性 効率性	・人命, 財産 (人家 11戸) の他、各公共施設及び重要交通網が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。 ・地元からの要望が強く、町等の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。 ・自然学校での積極利用を通じて防災教育の教材として活用されるよう配慮した整備に努める。
(4)優先性	土石流の被害想定区域には人家のほか、県立自然学校施設のキャンプサイトがある。平成10年には台風10号豪雨により荒廃が進み、今後も土砂流出の危険性が高く、人命・財産の保全のために早急な対策を必要とする。

評価の結果	着手妥当	左の理由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
-------	------	------	----------------------